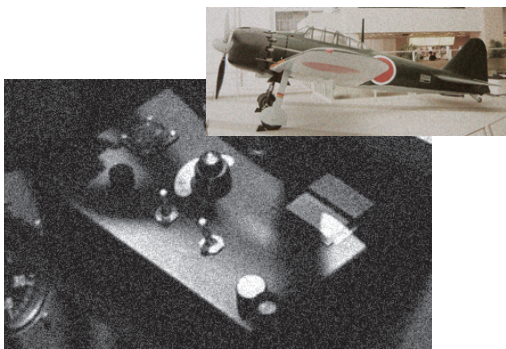


日本初



神保達(じんぼとる)により設立された神保電器製作所は、耐熱性が高く絶縁性にも優れた硬質のフェノール樹脂(ベークライト)を独自調合し、大正11年(1922)に、日本ではじめての「フェノール樹脂製ソケット」を開発しました。

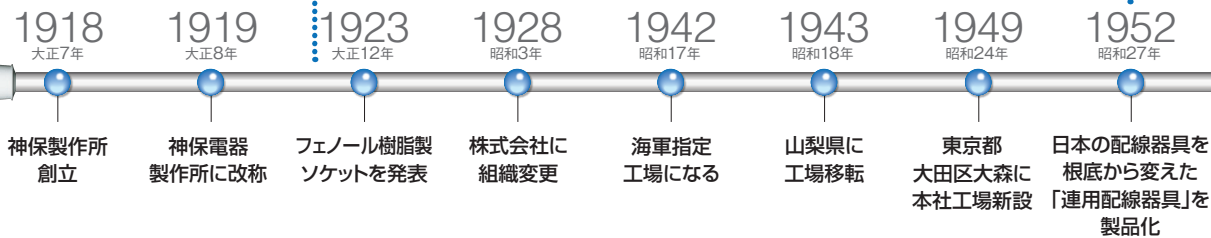


昭和17年、海軍の指定工場となり、零式艦上戦闘機をはじめ、航空機の点滅器(トグルスイッチ等)を製造。戦後も防衛庁規格(NDS)の通信機用精密スイッチとして継続。

日本初

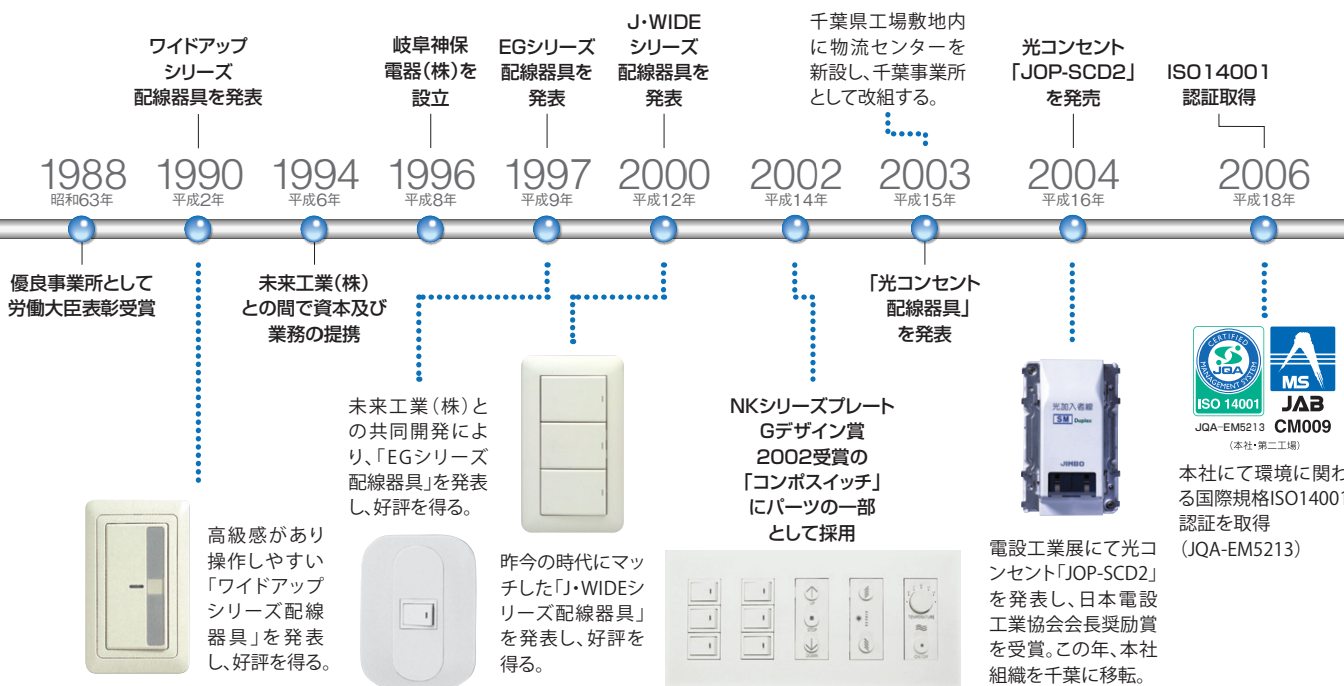


昭和27年、我が国の配線器具を変えた画期的な「連用配線器具」を製品化しました。従来の一箇所一点減・一差込口から、三連の連用配線器具として、日本の配線器具市場を根底から覆すこととなりました。



# 常に改善、すべてに工夫

明治時代…各地で電燈会社が設立しはじめ、ランプの普及とともに成長してきたキー(ランプ)ソケット。明治40年頃には、これまで市場を独占していた海外製品のソケットから、陶磁器製や練り物製などの国内製へと移り変わり、大正初期には全国へと広がりました。しかし、この練り物製は松脂とゴムを主原料としていたため、耐熱性が低く、灯具の脱落事故が多発しました。その問題解消にいち早く力を注ぎ、画期的な製品「フェノール樹脂製ソケット」を独自開発したのが創業まもない神保電器製作所でした。その「常に改善、すべてに工夫」の精神は、今も変わることなく大切に受け繋がられています。



高級感があり操作しやすい「ワイドアップシリーズ配線器具」を発表し、好評を得る。



未来工業(株)との共同開発により、「EGシリーズ配線器具」を発表し、好評を得る。



昨今の時代にマッチした「J・WIDEシリーズ配線器具」を発表し、好評を得る。



NKシリーズプレートGデザイン賞2002受賞の「コンボスイッチ」にパーツの一部として採用



電設工業展にて光コンセント「JOP-SCD2」を発表し、日本電設工業協会会長奨励賞を受賞。この年、本社組織を千葉に移転。



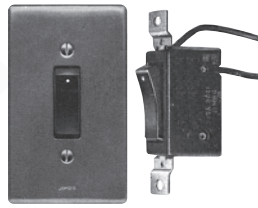
本社にて環境に関する国際規格ISO14001認証を取得 (JQA-EM5213)



電設工業展にて「リモコン配線器具」を発表し、東京都電気研究所所長賞を受賞。

1960  
昭和35年

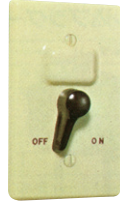
リモコン配線器具を発表



電設工業展にて「300V波動スイッチ」を発表し、通産大臣賞を受賞。

1961  
昭和36年

300V波動スイッチを発表



電設工業展にて「防水スイッチ」を発表し、技術奨励賞を受賞。

1962  
昭和37年

防水スイッチを発表



電設工業展にてコンテスターを発表し、日本電設工業協会技術奨励賞を受賞。(現在も改良され、ロングセラー商品に。)

1970  
昭和45年

検電器コンテスターを発表



電設工業展にて「新連用配線器具」を発表し、中小企業庁長官賞を受賞。

1974  
昭和49年

新連用配線器具を発表



電設工業展にて「マイルドビーカセットプレート配線器具」を発表し、中小企業庁長官賞を受賞。

1978  
昭和53年

マイルドビーカセットプレート配線器具を発表

# JIMBO

千葉・本社工場



岐阜工場



LED照明用2線式逆位相調光器  
2011電設工業展東京都知事賞受賞。  
NKシリーズ  
レッドドット・デザイン賞 受賞

2009  
平成21年

岐阜神保電器(株)を吸収合併、岐阜工場と改組



2011  
平成23年

NKシリーズGデザイン賞2009受賞

2013  
平成25年

J-WIDE SLIM METALLIC 配線器具を発表

J-WIDE スリムシリーズ配線器具を発表

2017  
平成29年

J-WIDE SLIM SQUARE 配線器具を発表

2018  
平成30年

J-WIDE SLIM SQUARE METALLIC 配線器具を発表

2019  
令和元年

J-WIDE SLIM SUSTE 配線器具を発表

2020  
令和2年

NK SERIE コンボスイッチをリニューアル

2021  
令和3年

RaProシリーズ防雨形コンセントを発表

2022  
令和4年

日本初 NK SERIE DALI-2 インットデバイスを発表



2024  
令和6年

artific series を発表



2025  
令和7年

# HISTORY

歴史継承